

# 第3回定例会

・一般質問②

**【答弁】(町長)**  
 町外の主要な医療機関に救急搬送される際に、それらの医療機関に通院歴がなくカルテがない患者は、受け入れ先の決定まで時間を要するケースもあります。  
 そこでクリニックさろまに通院されている方が救急搬送を要請した場合、本人の同意の下で救急搬送先の医療機

**【質問】**  
 「福祉・子育て環境の充実」の中で、85歳以上の高齢者と自動車運転免許返納高齢者を対象とした無料ハイヤー利用制度と、医療機関への入院時のハイヤー運賃の一部助成制度の創設をうたっています。この制度の創設をいつごろと考えているか伺います。

**【答弁】(町長)**  
 超高齢者の足の確保は喫緊の課題であり、いつまでも住み慣れた家で健康に生活できる支援として、85歳以上の方と自動車の運転免許返納した高齢者の方を対象とした無料ハイヤー制度を作るため、今後ハイヤー会社と協議を行っていきます。  
 また、今後増加していくことが予想されている高齢者世帯を支援する制度として、家族等の送迎者がいない高齢者が医療機関に入院する場合などに、ハイヤー運賃の一部を助成する制度が必要と考えています。  
 この2つの制度は令和3年4月から事業をスタートしたいと考えています。

**【質問】**  
 「町民が主役で暮らしやすいまちづくりの推進」について

- ① 医療体制と予防医療の充実
- ② 福祉・子育て環境の充実
- ③ 教育・文化の充実
- ④ 情報技術（ICT）の積極的活用
- ⑤ 地域基幹産業の活性化
- ⑥ 町民が主役で暮らしやすいまちづくりの推進
- ⑦ 人口減少の克服

**【質問】**  
 「医療体制と予防医療の充実」の中で、「円滑な救急搬送受け入れと迅速的確な治療を…」とありますが、現状の救急搬送の課題とその改善の考えについて伺います。

**【質問】**  
 「福祉・子育て環境の充実」の中で、85歳以上の高齢者と自動車運転免許返納高齢者を対象とした無料ハイヤー利用制度と、医療機関への入院時のハイヤー運賃の一部助成制度の創設をうたっています。この制度の創設をいつごろと考えているか伺います。

**【答弁】(町長)**  
 超高齢者の足の確保は喫緊の課題であり、いつまでも住み慣れた家で健康に生活できる支援として、85歳以上の方と自動車の運転免許返納した高齢者の方を対象とした無料ハイヤー制度を作るため、今後ハイヤー会社と協議を行っていきます。  
 また、今後増加していくことが予想されている高齢者世帯を支援する制度として、家族等の送迎者がいない高齢者が医療機関に入院する場合などに、ハイヤー運賃の一部を助成する制度が必要と考えています。  
 この2つの制度は令和3年4月から事業をスタートしたいと考えています。

**【武田町長七つの基本政策】**  
 9月23日に行われた町長の所信表明において、次の七つの基本政策が示されました。

**町長の所信表明の中で示された七つの基本政策のうち、次の3点について伺います。**

**町長：「植えて、育てて、使って、また植える」を基本理念に進める**

**【答弁】(町長)**  
 町民が主役で主体性を持つまちづくりが重要であり、まちづくりに対して活発な議論ができる町にしていきたいと考えています。  
 そのためには人が集まる地盤を作ることが大切であり、地域や団体との意見交換の場を作り、その中から住民が主体となり、まちづくりを考える地域組織などを作っていくことが考えています。

**【答弁】(町長)**  
 町民が主役で主体性を持つまちづくりが重要であり、まちづくりに対して活発な議論ができる町にしていきたいと考えています。  
 そのためには人が集まる地盤を作ることが大切であり、地域や団体との意見交換の場を作り、その中から住民が主体となり、まちづくりを考える地域組織などを作っていくことが考えています。



但木早苗 議員

## 町長の所信表明を受けて

### 所信表明にある「円滑な救急搬送」の現状の課題と改善の考えは

町長：「クリニックさろまと町外医療機関の連携を強化し、迅速に救急搬送されるシステムを実現したい」

現状の課題と改善の考えは

3名の議員が一般質問を行いました。  
 (紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

# 第3回定例会

・一般質問①

# 一般質問



佐藤昭男 議員

## 新型コロナウイルス感染症による林産業への影響について

**【質問】**  
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、輸出入の梱包材や新築住宅の建材の需要が減少していますが、本町の町有林、民有林の木材価格への影響について伺います。

**【答弁】(町長)**  
 本町の森林作業員は現在4名おり、町外の事業所に就労していますが、今後の木材価格の状況により伐採が減り、仕事が減る場合は、下草刈りなど森林保育作業に転換されることが予想されます。  
 また、各木材加工場は製品需要の低迷に対し、操業計画の変更などで対応していますが、経営上可能な限り受け入れに協力いただいております。

**【答弁】(町長)**  
 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内の木材需要は減少していますが、本町の4月から8月までの森林組合出荷量は、前年に対して16.5%の増加となっております。民有林と町有林を合わせて昨年同様の生産量となる予定です。  
 価格については8月までは昨年の販売単価と同程度で推移していましたが、9月に入

**【質問】**  
 森林作業員の仕事を確保するためには伐採を行うことが必要だと思えますが、木材加工場の対応について伺います。  
 また、このことによる植林計画への影響など、町長の所信表明にある「活力ある森林体系」をどのように維持していくのか伺います。

**【答弁】(町長)**  
 伐採量の減少は植林計画など森林の更新計画にも影響しますが、町全体の伐採量を計画的に確保し、森林の多面的機能を維持しながら、「植えて、育てて、使って、使って、また植える。」を基本理念に、関係機関や山林所有者と協力して進めていきたいと考えています。

## 第4回定例会は12月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報12月号の折込みチラシをご覧ください。



# 第3回臨時会

・審議した議案

第3回臨時会が9月1日開催され、議案2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

また、9月11日をもって任期満了により町長を退任される、川根章夫町長から退任の挨拶が行われました。

# 第3回定例会

・一般質問③

**【主な歳入】**

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2億8,057万円
- ・プレミアム付商品券発行支援事業費補助金 1,200万円
- ・ふるさと応援事業寄付金 1億4,220万円
- ・高度無線環境整備推進事業費 1億2,000万円

**【主な歳出】**

- ・新型コロナウイルス感染症対策給付金 260万円
- ・プレミアム付全町共通商品券発行事業補助金 348.1万円
- ・学校保健特別対策事業費交付金 488万円

**【主な歳入】**

- ・ふるさと納税業務代行委託料 845.1万円
- ・高度無線環境整備推進事業費負担金 3億7,286万円
- ・新型コロナウイルス感染症対策給付金 260万円
- ・プレミアム付全町共通商品券発行事業補助金 348.1万円
- ・学校保健特別対策事業費交付金 488万円

**【主な歳出】**

- ①取得する財産
- ◎学習用タブレット 348台
- ・児童生徒用 348本
- ・教師用 52本
- ◎Webフィルタリングサービス 348本
- ◎ファイرفリアドバンド (ラジアルドリル・教材集) 4式
- ②取得価格 5,055万円
- ③納入期限 令和3年3月31日
- ④取得の方法 指名競争入札
- ⑤売上の相手方 北見市卸町1丁目5番地 株式会社 小柳中央堂 代表取締役 小柳 亨信

**【ふるさと納税の状況】**

令和2年度のふるさと納税は、これまで以前年同期期の3倍以上の寄附が寄せられており、最終的な寄附総額は2億2,500万円と、当初見込んだ8,280万円を大きく超える見込みとなりました。

これは令和元年度の寄附総額1億6,784万円と比較すると、5,700万円ほど上回る見込みとなっています。

この寄附額の増加に伴い、クレジット決済の手数料や、返礼品発送等の業務代行委託料など、町が支出する経費も増加することから、関連する歳入・歳出予算の増額補正が行われました。

## 審議した議案

全国から予想を上回る寄附が殺到！

ふるさと納税関連予算を増額補正

# 新型コロナウイルス感染症対策に関連する予算 4億1,858万円を予算補正



三田 真美 議員

**所信表明にある「給付型奨学金制度」の現在検討している具体的な案は**

町長：佐呂間高校の存続対策として考えているが、具体的な案については今後制度づくりを進めていく

## インフルエンザ予防接種について

**【質問】**  
高齢者は様々な疾患を持つ方も多く、インフルエンザに感染し重症化するリスクをなくするため、高齢者に対する予防接種を無料化することがいいと考えますが、町長の考えを伺います。

**【答弁】(保健福祉課長)**  
コロナ禍の状況の中、全国的にインフルエンザ予防接種を無料化する自治体がありますが、これは新型コロナウイルス感染症に対する国の交付金を使った措置であり、今年度限りの無料化となっております。

## 佐呂間高校への支援について

**【答弁】(町長)**  
本町では、インフルエンザ予防接種費用の2分の1を限度額として助成を行っていません。

本年度の予防接種に対する費用助成についても、すでに広報サロマ9月号の折込チラシにてお知らせしていることから、現行どおりに実施したいと考えています。

**【質問】**  
町長の所信表明で、佐呂間高校から四年生大学への進学者に、年間50万円の給付型奨学金制度を創設したいとありましたが、現在検討している具体的な案について伺います。

**【答弁】(町長)**  
佐呂間高校への入学者を増やすには、四年制大学進学者だけでなく入学者全員にメリットがある制度が必要だと思いますが、学校を存続するためのその他の施策について考えがあれば伺います。

将来の夢の実現には四年生大学だけではないとの意見も

## 核のごみについて

いただいたとおり、この部分については今後検討していきたいと考えています。

また、その他の施策としては、①「学習面の支援」として、パソコンやタブレット端末による自宅でのインターネット個別学習指導に対する助成、②「部活動に対する支援」として、部活動の質や技術を高めるための指導者の派遣、③「パーマ高校への交換留学派遣費用の助成」などの支援策を強化していきたいと考えています。

**【質問】**  
核のごみ(高レベル放射性廃棄物)の最終処分場選定について、道内の2つの自治体が国の文庫調査への応募を検討しているようですが、町長の核のごみに対する考えを伺います。

**【答弁】(町長)**  
核のごみについては安易に受け入れるべきではないと考えており、町長として文庫調査に応募する考えは全く持っていないと断言いたします。